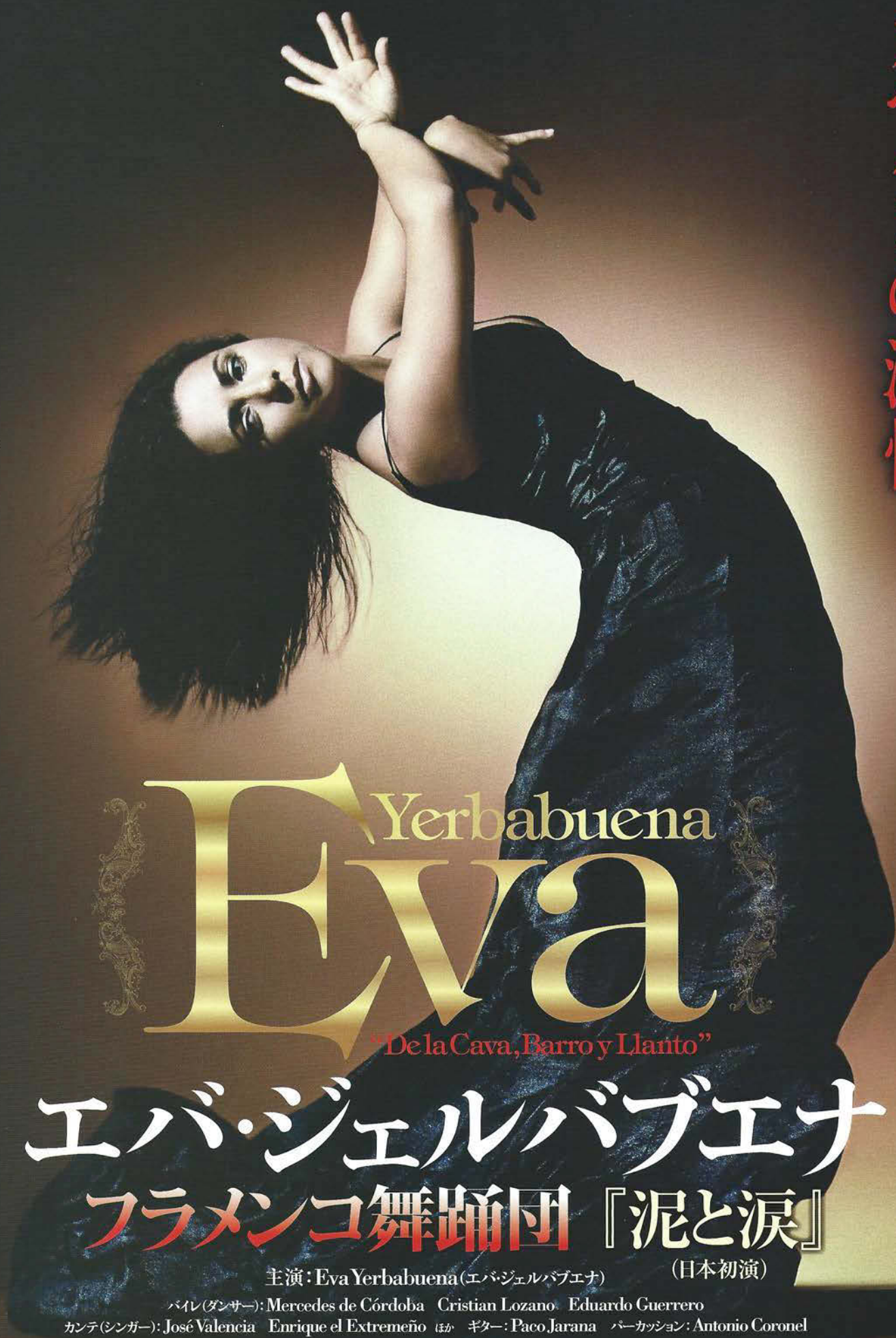


現代フラメンコ界の女神、ミューズ降臨

スペインの激情——



Eva Yerbabuena

Eva

"De la Cava, Barro y Llanto"

エバ・ジェルバブエナ フラメンコ舞踊団『泥と涙』

主演: Eva Yerbabuena (エバ・ジェルバブエナ) (日本初演)

バイレ(ダンサー): Mercedes de Córdoba Cristian Lozano Eduardo Guerrero

カンテ(シンガー): José Valencia Enrique el Extremeño ほか ギター: Paco Jarana パーカッション: Antonio Coronel

photo by Outumuro

2014 **3/26** [水] 7:00PM開演 (6:15PM開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
A 10,000円 B 8,000円 C 6,000円 D 4,000円 (全席指定・税込) 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp> 主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

一般発売 10/20日



伝統と完璧な技術に裏付けされた情熱的な踊りで、若くして女性フラメンコ舞踊家としての地位を築いたエバ・ジェルバブエナは、1998年28歳で舞踊団を旗揚げし、2作目『5ムヘーレス5(2000年)』で、フラメンコ従来のに縛られない独特の感性に彩られた、新しい舞踊世界を生み出した。

『ラ・ボス・デル・シレンシオ(02)』、『ア・クアトロ・ボセス(04)』、『エル・ウソ・デ・ラ・メモリア(06)』と、作品の度にその評価を上げ、『ジュビア(09)』では格式の高いマドリド・サルセラ劇場の150周年のシーズン開幕を飾る。

2001年に国家賞であるプレミオ・ナシオナル・デ・ダンスを受賞。ドイツのコンテンポラリー舞踊家ピナ・バウシュ舞踊団に客演ほか、マイク・フィグス監督映画『フラメンコ・ウーマン(97)』、『ホテル(01)』に出演するなど、世界を股にかけて活躍する、スペインを代表する舞踊家の一人である。

目に映るものをそのまま映し出した写真ではなく、受けた心の動きを描く印象派の絵。それがエバ・ジェルバブエナのフラメンコだ。エバは怒り、悲しみ、喜びといった直接的な感情ではなく、愛、痛み、メランコリーといった、感性の風景を表現する。彼女自身の体験に基づいた、あまりに親密な世界。しかしその抽象的な“声”が、これほど心に響くのはなぜだろう。そこには痛みを満ちた沈黙がある。その中に、私たちは女性の、人間の、魂の奥深さをまざまざと見る。エバの体験は私たち自身の体験と重なり、心を掻き立て、そしていつしか涙が頬を伝うのだ。

進化する現代フラメンコの様々な試みの中で、心の情景を描くエバ・ジェルバブエナの舞台は、ひときわ大きな金字塔を打ちたてた。彼女は感性の目で、遠く未来を見つめている。

東 敬子 フラメンコライター／評論家

深遠なるフラメンコ芸術の極致。
真のカリスマ的存在、関西初登場！



photo by Jose Luis Alvarez

「この若き偉大なダンサーに、
心揺り動かされた。」
— タイムズ紙(イギリス)

「エバの踊りは桁外れに素晴らしい…
その見事な足さばきはフラメンコ界最高だ。」
— ディアリオ・デ・セビージャ紙(スペイン)



photo by Jaime Martinez

Yerbabuena
Eva

『泥と涙』 デ・ラ・カヴァ パーロ・イ・ジャント
“De la Cava, Barro y Llanto”

新作《De la Cava, Barro y Llanto(泥と涙)》では、フラメンコを彩る音楽、振付、そして踊り手の胸の内までも、すべてがそのまま、露わに表現される。強さ、激しさ、優しさ、様々な感情のドラマが、たたみかけるような6連の振付を通じて、観る者ひとりひとりの心へと放たれていく。エバは今作に自身の人生を写したそうとした。生と死、光と影、喧噪と静寂。全ては時間に導かれる。一瞬の時、空間、心の隅々を、彼女はその指先で触れ、なぞっていく。本作では、98年のデビュー以来、自身が踊った振付のうち、代表的なパートが、装い新たに織り込まれている。フラメンコの伝統を踏襲しつつも、フレッシュで革新的な演目となった。《…Eva(1998年)》、《5ムヘーレス5(2000年)》、《エル・ウソ・デ・ラ・メモリア(06年)》をはじめ、過去に上演された中から代表5作品のステップや振付が、今現在の視点を加えて、新しい息吹を吹き込まれている。そしてもちろん、新たに創作、振付されたダンスも大きな見どころだ。音楽は、エバが自作《パレエ・フラメンコ》でも見せた多様なスタイルの楽曲が、フラメンコ界最高峰のミュージシャン達によってライブ演奏される。

2014 3/26 [水] 7:00PM開演(6:15PM開場)
A 10,000円 B 8,000円 C 6,000円 D 4,000円(全席指定・税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日) ※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問合せください。

- 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- e+(イープラス) <http://eplus.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 10月18日
- チケットぴあ 0570-02-9999 [コード 430-915] <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) 0570-084-005 [Lコード 53968] <http://l-tike.com>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [10月22日(火)より、残席がある場合のみ]
ローソン、サンクス、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルK、ミニストップ

一般発売
10/20日



阪神高速3号神戸線 西宮IC.
○阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
○JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

※未就学児童はご入場いただけません。※やむをえない事情により、出演者、演目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。
主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター